

令和6(2024)年度
「学校における働き方改革推進プラン(第2期)」に基づく実態調査結果
(学校回答)

令和6(2024)年11月

栃木県教育委員会

目次

	ページ
○ 調査概要	1
○ 最終退勤時刻	2
○ 業務を精選・効率化するという意識	3
○ 業務の適正化	4
○ " (具体例)	5
○ 先に退勤することへの抵抗感が低減するような取組	6
○ 改善すべき業務の探索や業務改善の効果検証	7
○ 業務の適正化について意見しやすい雰囲気づくり	8
○ 地域・保護者・関係機関との連携	9
○ 部活動の活動時間・休養日の設定と徹底	10
○ 適正な部活動数の設置	11
○ 業務改善を進める委員会の校務分掌への位置づけ	12
○ 教職員評価制度の活用	13
○ ミドルリーダーの育成	14
○ 休暇を取得しやすい雰囲気の醸成	15

調査概要

1 調査期間と方法

令和6(2024)年7月10日(水)～19日(金)の期間にWeb調査を実施

2 調査対象

県内全ての公立学校

3 調査対象校数

校種	対象校数 (校)		(内訳)			
			県立学校 (校)		市町立学校 (校)	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
小学校(分校含む)	334	330			334	330
中学校(分校含む)	148	148	3	3	145	145
義務教育学校	6	6			6	6
高等学校	全日制	58	58	58		
	定時・通信制	10	10	10	10	
特別支援学校	16	16	16	16		
計	572	568	87	87	485	481

4 回答校数と回答率

校種	対象校数 (校)		回答校数 (校)		回答率 (%)	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
小学校(分校含む)	334	330	334	330	100.0	100.0
中学校(分校含む)	148	148	148	148	100.0	100.0
義務教育学校	6	6	6	6	100.0	100.0
高等学校	全日制	58	58	58	100.0	100.0
	定時・通信制	10	10	10	100.0	100.0
特別支援学校	16	16	16	16	100.0	100.0
計	572	568	572	568	100.0	100.0

最終退勤時刻

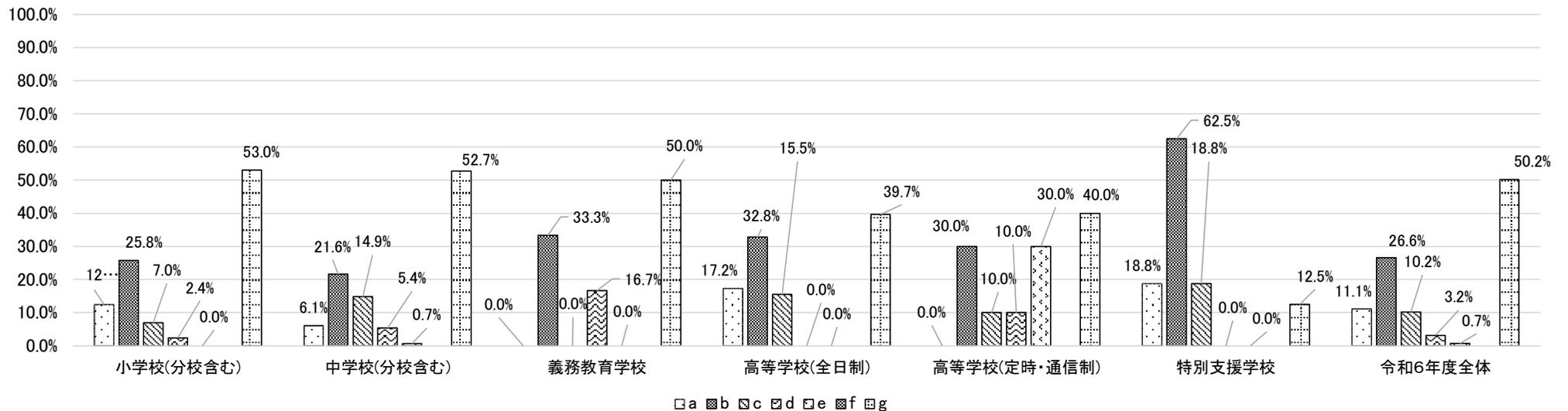
質問:最終退勤時刻は何時に設定していますか。(複数回答可)

- a ~19時00分 b 19時01分~20時00分 c 20時01分~21時00分
- d 21時01分~22時00分 e 22時01分~23時00分 f 23時01分~24時00分
- g 設定していない

校種	全学校数(校)							県立学校(校)							市町立学校(校)						
	a	b	c	d	e	f	g	a	b	c	d	e	f	g	a	b	c	d	e	f	g
小学校(分校含む)	41	85	23	8	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	41	85	23	8	0	0	175
中学校(分校含む)	9	32	22	8	1	0	78	0	1	1	0	0	0	1	9	31	21	8	1	0	77
義務教育学校	0	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
高等学校	全日制	10	19	9	0	0	23	10	19	9	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0
	定時・通信制	0	3	1	1	3	4	0	3	1	1	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0
特別支援学校	3	10	3	0	0	0	2	3	10	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度全体	63	151	58	18	4	0	285	13	33	14	1	3	0	30	50	118	44	17	1	0	255

全体の49%が退勤時刻を設定していないと回答した。
 設定していない理由として、「退勤時刻を意識して業務に取り組んでいるため」が最も多く、「保護者対応」や「時期により、教職員の業務内容に偏りがあるため」という回答もあった。

<令和6年度>



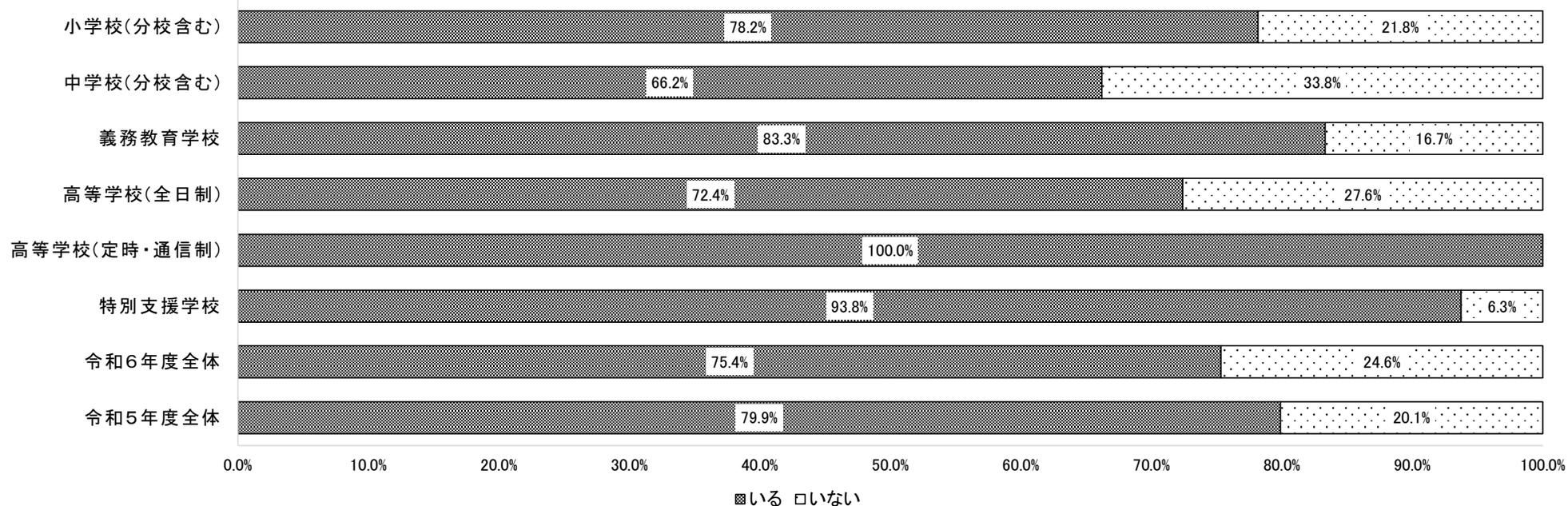
業務を精選・効率化するという意識

質問: 貴校では、退勤時刻を意識して、その時刻に間に合うよう業務を精選・効率化するという意識が定着していますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	84.1	78.2	15.9	21.8					84.1	78.2	15.9	21.8	
中学校(分校含む)	73.0	66.2	27.0	33.8	33.3	66.7	66.7	33.3	73.8	66.2	26.2	33.8	
義務教育学校	50.0	83.3	50.0	16.7					50.0	83.3	50.0	16.7	
高等学校	全日制	70.7	72.4	29.3	27.6	70.7	72.4	29.3	27.6				
	定時・通信制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
特別支援学校	87.5	93.8	12.5	6.3	87.5	93.8	12.5	6.3					
全体	79.9	75.4	20.1	24.6	75.9	79.3	24.1	20.7	80.6	74.6	19.4	25.4	

令和6(2024)年度は、公立学校の75.4%の学校で、退勤時刻に対する意識が定着している。特に、県立高等学校(定時・通信制)は、全ての学校での意識が定着している。

<令和6年度>



業務の適正化

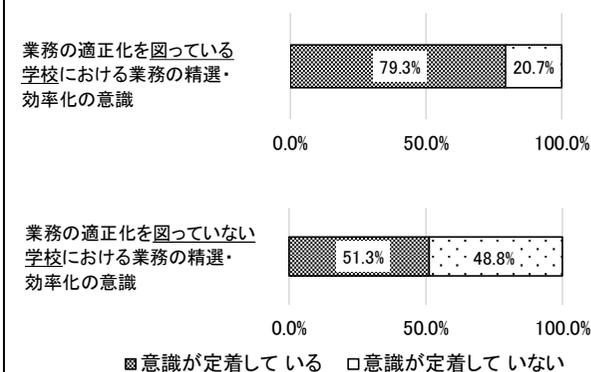
質問: 貴校では、一つ一つの業務について、業務の適正化という観点から、「必須の業務ではない」と判断したものについては、積極的に削減や簡素化を図っていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5		R6		いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	88.6	89.1	11.4	10.9					88.6	89.1	11.4	10.9	
中学校(分校含む)	88.5	81.8	11.5	18.2	100.0	33.3	0.0	66.7	88.3	82.8	11.7	17.2	
義務教育学校	83.3	100.0	16.7	0.0					83.3	100.0	16.7	0.0	
高等学校	全日制	79.3	79.3	20.7	20.7	79.3	79.3	20.7	20.7				
	定時・通信制	70.0	90.0	30.0	10.0	70.0	90.0	30.0	10.0				
特別支援学校	87.5	75.0	12.5	25.0	87.5	75.0	12.5	25.0					
全体	87.2	85.9	12.8	14.1	80.5	78.2	19.5	21.8	88.5	87.3	11.5	12.7	

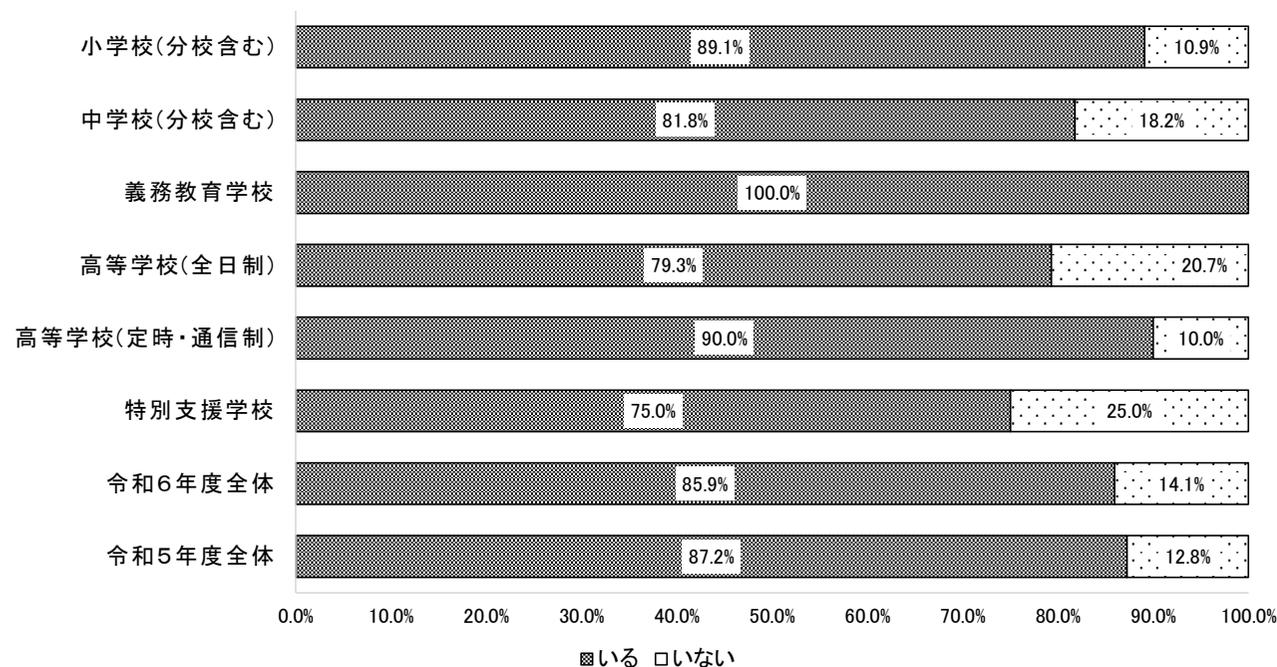
令和6(2024)年度は、公立学校の85.9%の学校で、業務の適正化を図っている。特に、小学校、義務教育学校及び、高等学校(定時・通信制)では、約9割の学校で業務の適正化を図っている。

(参考)

・業務の適正化と精選・効率化の意識について



<令和6年度>



業務の適正化(具体例)

質問: 貴校では、一つ一つの業務について、業務の適正化という観点から「必須の業務ではない」と判断したものについては、積極的に削減や簡素化を図っていますか。

行事：準備等の時間の見直し。整理・統合し、隔年実施に。生徒登校日の廃止。

宿泊学習を2泊から1泊へ変更。行事の朝練なし。来賓の招待縮小。

会議・研修：人数の精選。議題や説明内容の精選と時間設定。複数の会議の統合。

部活動：活動時間、活動日の見直し。朝練なし。顧問輪番制。

打合せ：回数の精選。ICTの活用(掲示板での共有)。朝の管理職打合せを削減。

清掃活動：分担場所の見直し。大掃除の回数減。週2回清掃なし。

日課：日課全般の見直し。登校時間を遅らせた。完全下校時刻を早めた。

PTA関連：PTA行事のスリム化。総会を書面開催。支部会の廃止。組織の見直し。

会議をオンラインで実施。広報誌を学校だよりと統合。

文書作成：文書のデータ化。週報をなくした。学年便りを学校便りに一本化。学期末の提出書類を削減。

通知表：1学期所見をなしとし、夏休みの教育相談でお伝えする。押印無し。

保護者向け通知：各種通知・連絡事項をメール配信。

外部人材の利用：食物アレルギー対応(地区給食センター栄養士と連携)

登下校指導・夏休みの作品整理・除草作業・プール清掃・ワックスがけ(地域・保護者ボランティア等)

水泳学習(民間施設、講師を活用) 給食食材の運び入れの際の鍵開け(調理員)

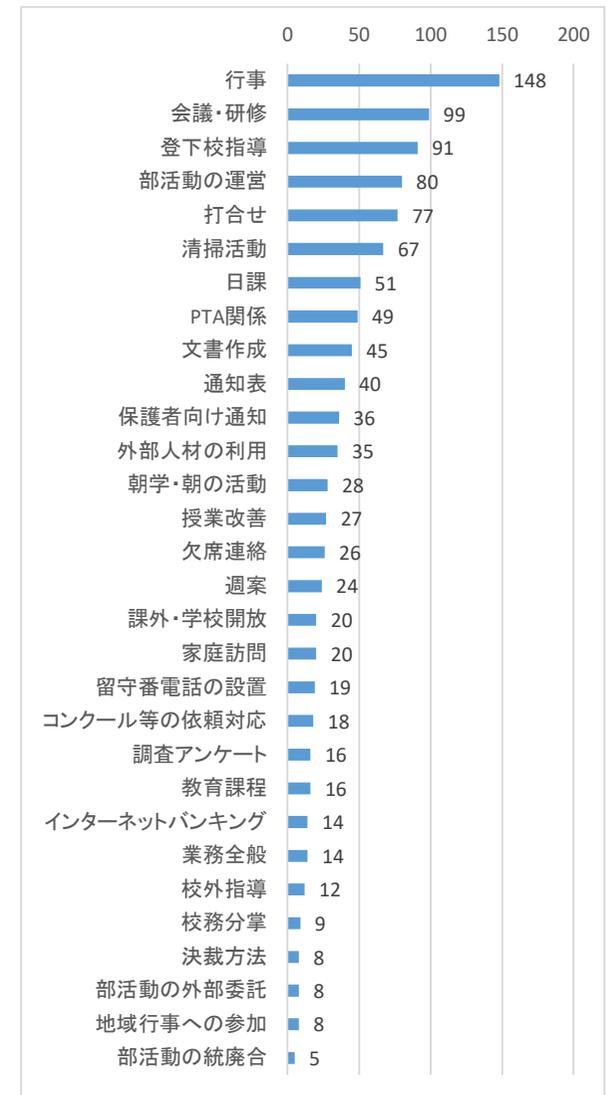
朝学・朝の活動：廃止。短縮。回数減。

授業改善：デジタル教材の共有。スタディーサプリを導入。AIドリルの利用。

欠席連絡：formsの利用。メールでの連絡。

課外・学校開放：土曜課外の廃止。前期夏季課外を廃止。

各学校の取組(校数)



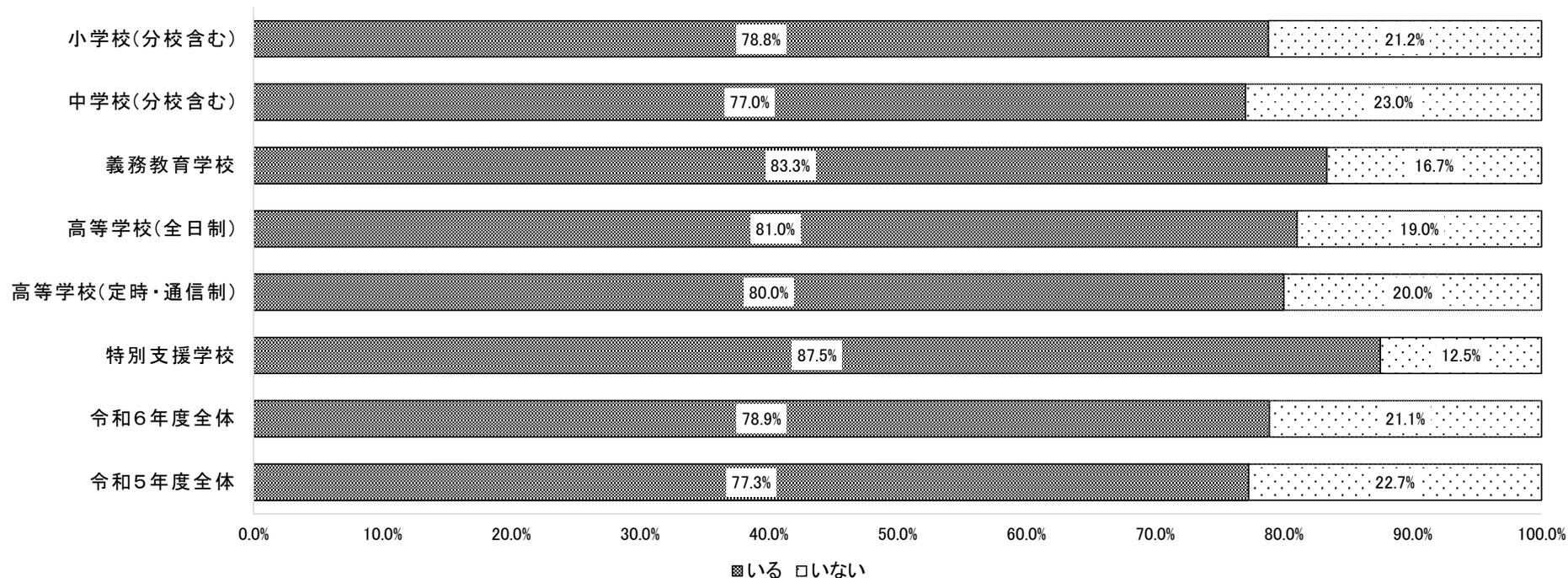
先に退勤することへの抵抗感が低減するような取組

質問: 貴校では、先に退勤することへの抵抗感が低減するような取組を行っていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	79.6	78.8	20.4	21.2					79.6	78.8	20.4	21.2	
中学校(分校含む)	74.3	77.0	25.7	23.0	66.7	100.0	33.3	0.0	74.5	76.6	25.5	23.4	
義務教育学校	50.0	83.3	50.0	16.7					50.0	83.3	50.0	16.7	
高等学校	全日制	72.4	81.0	27.6	19.0	72.4	81.0	27.6	19.0				
	定時・通信制	90.0	80.0	10.0	20.0	90.0	80.0	10.0	20.0				
特別支援学校	75.0	87.5	25.0	12.5	75.0	87.5	25.0	12.5					
全体	77.3	78.9	22.7	21.1	74.7	82.8	25.3	17.2	77.7	78.2	22.3	21.8	

令和6(2024)年度は、78.9%の公立学校で、先に退勤することへの抵抗感が低減するような取組を行っている。特に、特別支援学校では、約9割の学校で取り組んでいる。

<令和6年度>



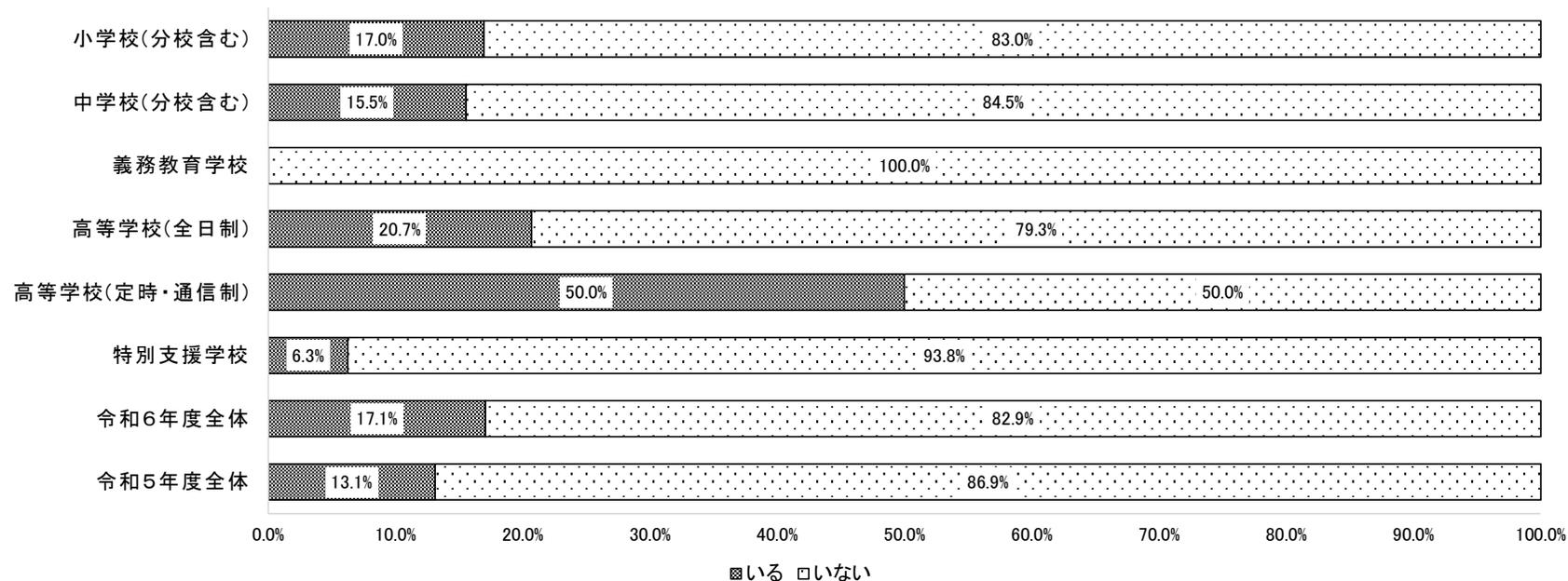
改善すべき業務の探索や業務改善の効果検証

質問: 貴校では、期間を決めて教職員が何の業務にどれだけ時間をかけているか記録し、それを基に改善すべき業務の探索や業務改善の効果検証を行っていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	11.7	17.0	88.3	83.0					11.7	17.0	88.3	83.0	
中学校(分校含む)	14.2	15.5	85.8	84.5	0.0	0.0	100.0	100.0	14.5	15.9	85.5	84.1	
義務教育学校	16.7	0.0	83.3	100.0					16.7	0.0	83.3	100.0	
高等学校	全日制	13.8	20.7	86.2	79.3	13.8	20.7	86.2	79.3				
	定時・通信制	20.0	50.0	80.0	50.0	20.0	50.0	80.0	50.0				
特別支援学校	25.0	6.3	75.0	93.8	25.0	6.3	75.0	93.8					
全体	13.1	17.1	86.9	82.9	16.1	20.7	83.9	79.3	12.6	16.4	87.4	83.6	

令和6(2024)年度は、17.1%の公立学校で、業務時間の記録と検証を行った。

<令和6年度>



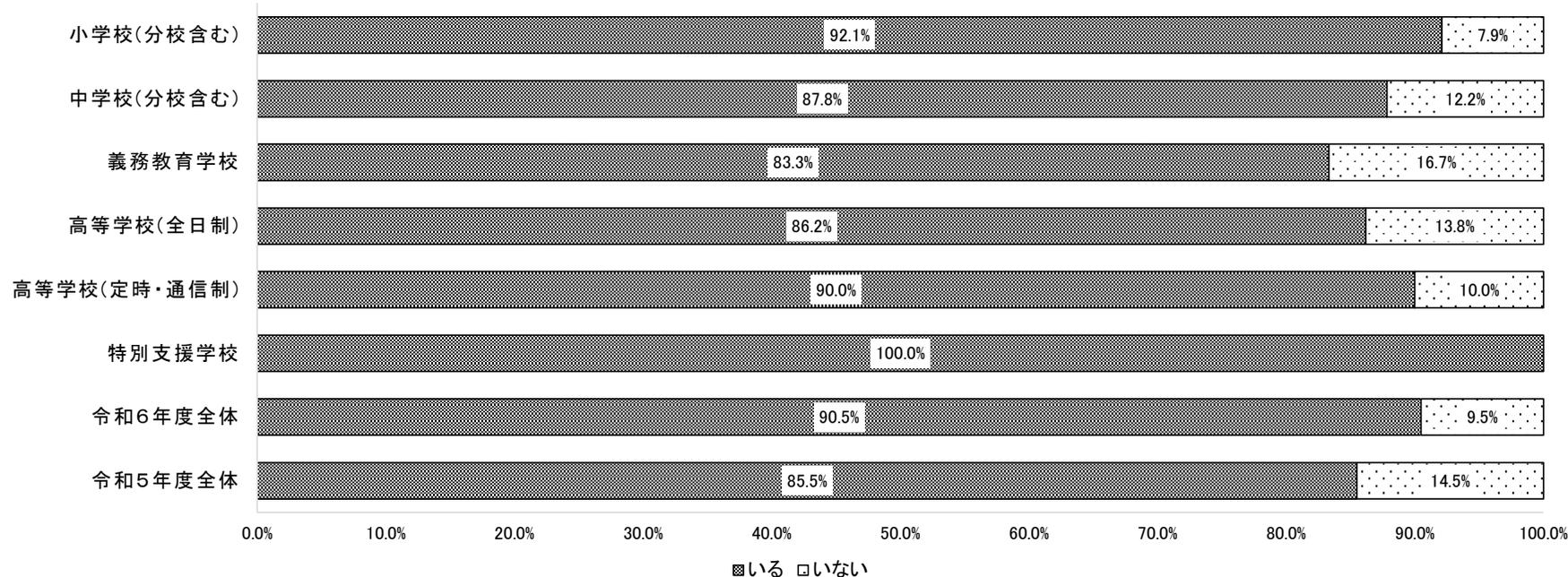
業務の適正化について意見しやすい雰囲気づくり

質問: 貴校では、例えば、教職員間で業務の在り方や見直しについて話し合う場を設けるなど、業務の適正化について意見しやすい雰囲気づくりに努めていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	85.3	92.1	14.7	7.9					85.3	92.1	14.7	7.9	
中学校(分校含む)	82.4	87.8	17.6	12.2	100.0	33.3	0.0	66.7	82.1	89.0	17.9	11.0	
義務教育学校	66.7	83.3	33.3	16.7					66.7	83.3	33.3	16.7	
高等学校	全日制	91.4	86.2	8.6	13.8	91.4	86.2	8.6	13.8				
	定時・通信制	90.0	90.0	10.0	10.0	90.0	90.0	10.0	10.0				
特別支援学校	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0					
全体	85.5	90.5	14.5	9.5	93.1	87.4	6.9	12.6	84.1	91.1	15.9	8.9	

令和6(2024)年度は、公立学校の90.5%で、業務の適正化について意見しやすい雰囲気づくりに努めている。特に、特別支援学校では、全ての学校で意見しやすい雰囲気づくりに努めている。

<令和6年度>



地域・保護者・関係機関との連携

質問：貴校では、業務改善に向けた地域・保護者・関係機関との連携として、以下に挙げた取組を行っていますか。（複数回答可）

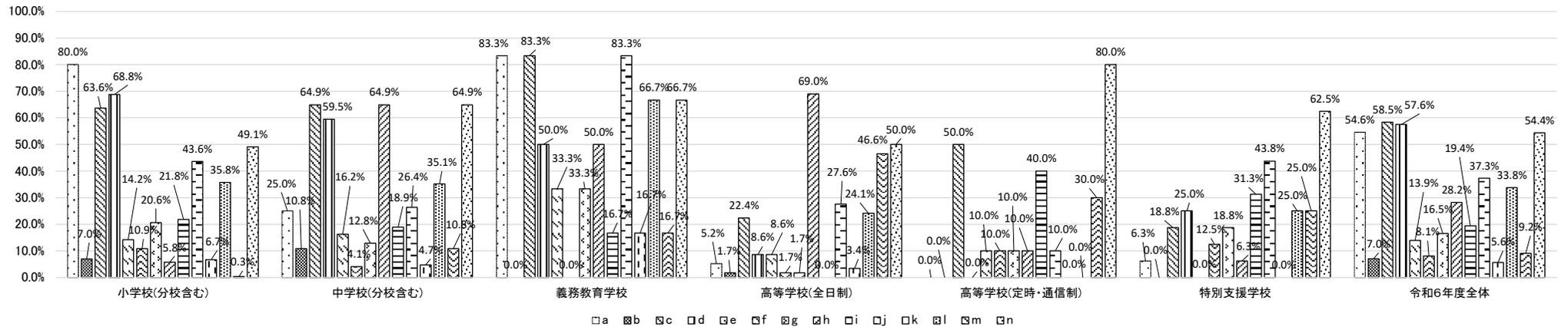
※「3分類に基づく14の取組の実効性を確保するための各主体による「対応策の例」」を参考とする。

- a 登下校に関する対応（地域ボランティア等）
- b 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応（PTA、自治会等）
- c 学校徴収金の徴収・管理（事務職員が一括して管理等）
- d 地域ボランティアとの連絡調整（学校運営協議会等の活用等）
- e 調査・統計等への回答等（事務職員等）
- f 児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等）
- g 校内清掃（輪番、地域ボランティア等）
- h 部活動（部活動支援員等）
- i 給食時の対応（栄養教諭等との連携等）
- j 授業準備（サポートスタッフの参画等）
- k 学習評価や成績処理（サポートスタッフの参画等）
- l 学校行事の準備・運営（事務職員との連携、一部外部委託等）
- m 進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等）
- n 支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）

校種	全学校数(校)														
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	
小学校(分校含む)	264	23	210	227	47	36	68	19	72	144	22	118	1	162	
中学校(分校含む)	37	16	96	88	24	6	19	96	28	39	7	52	16	96	
義務教育学校	5	0	5	3	2	0	2	3	1	5	1	4	1	4	
高等学校	全日制	3	1	13	5	5	1	1	40	0	16	2	14	27	29
	定時・通信制	0	0	5	0	1	1	1	4	1	0	0	3	8	
特別支援学校	1	0	3	4	0	2	3	1	5	7	0	4	4	10	
令和6年度全体	310	40	332	327	79	46	94	160	110	212	32	192	52	309	

校種	県立学校(校)														市町立学校(校)													
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n
小学校(分校含む)															264	23	210	227	47	36	68	19	72	144	22	118	1	162
中学校(分校含む)			2		1			2			1	1	1	2	37	16	94	88	23	6	19	94	28	39	6	51	15	94
義務教育学校															5		5	3	2		2	3	1	5	1	4	1	4
高等学校	全日制	3	1	13	5	5	1	1	40		16	2	14	27	29													
	定時・通信制			5		1	1	1	4	1			3	8														
特別支援学校	1		3	4		2	3	1	5	7		4	4	10														
令和6年度全体	4	1	23	9	7	4	5	44	9	24	3	19	35	49	306	39	309	318	72	42	89	116	101	188	29	173	17	260

<令和6年度>



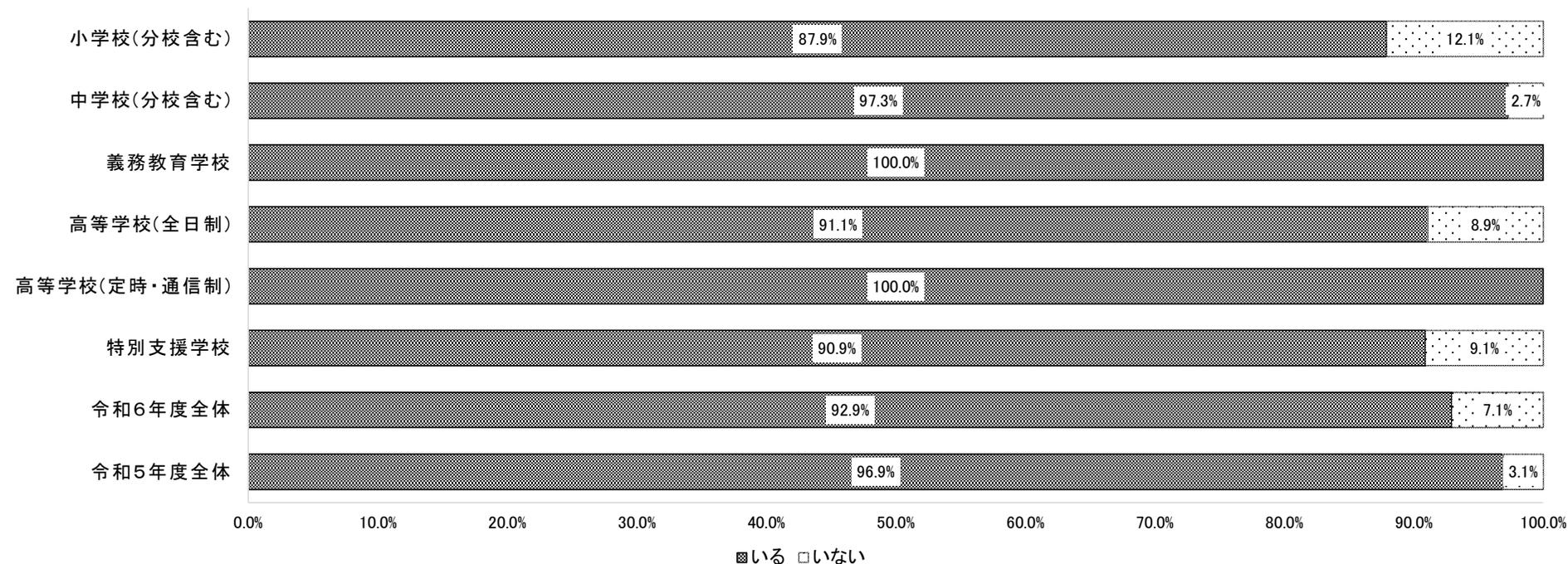
部活動の活動時間・休養日

質問：貴校では、部活動ガイドラインに基づいた部活動の活動時間・休養日を適切に設定するとともに、各部の活動内容を把握し、適宜、指導・是正を行う等、その運用を徹底していますか。 ※ 部活動(小学校における部活動に類する活動を含む)を設置している学校のみ回答。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	いる		いない		いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	93.7	87.9	6.3	12.1					93.7	87.9	6.3	12.1	
中学校(分校含む)	100.0	97.3	0.0	2.7	100.0	66.7	0.0	33.3	100.0	97.9	0.0	2.1	
義務教育学校	100.0	100.0	0.0	0.0					100.0	100.0	0.0	0.0	
高等学校	全日制	96.5	91.1	3.5	8.9	96.5	91.1	3.5	8.9				
	定時・通信制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
特別支援学校	90.0	90.9	10.0	9.1	90.0	90.9	10.0	9.1					
全体	96.9	92.9	3.1	7.1	96.2	91.1	3.8	8.9	97.1	93.5	2.9	6.5	

令和6(2024)年度は、部活動を設置している公立学校のうち、92.9%が活動時間・休養日を適切に設定している。

<令和6年度>



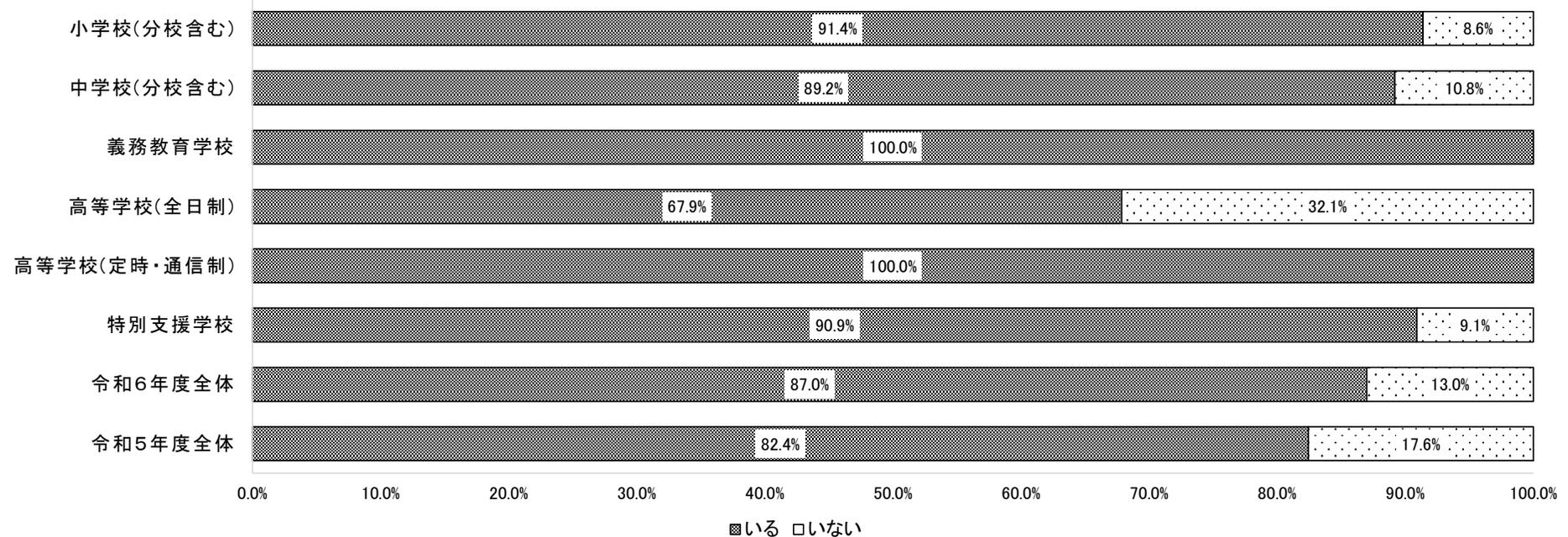
適正な部活動数の設置

質問: 貴校では、児童生徒数、教員数を踏まえて、適正な部活動数を設置するよう見直しを図っていますか。
 ※ 部活動(小学校における部活動に類する活動を含む)を設置している学校のみ回答。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	83.3	91.4	16.7	8.6					83.3	91.4	16.7	8.6	
中学校(分校含む)	82.8	89.2	17.2	10.8	100.0	66.7	0.0	33.3	82.4	89.7	17.6	10.3	
義務教育学校	83.3	100.0	16.7	0.0					83.3	100.0	16.7	0.0	
高等学校	全日制	75.4	67.9	24.6	32.1	75.4	67.9	24.6	32.1				
	定時・通信制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
特別支援学校	90.0	90.9	10.0	9.1	90.0	90.9	10.0	9.1					
全体	82.4	87.0	17.6	13.0	81.0	74.7	19.0	25.3	82.8	90.6	17.2	9.4	

令和6(2024)年度は、部活動を設置している公立学校のうち、87.0%が適正な部活動数の設置に努めている。

<令和6年度>



業務改善を進める委員会の校務分掌への位置づけ

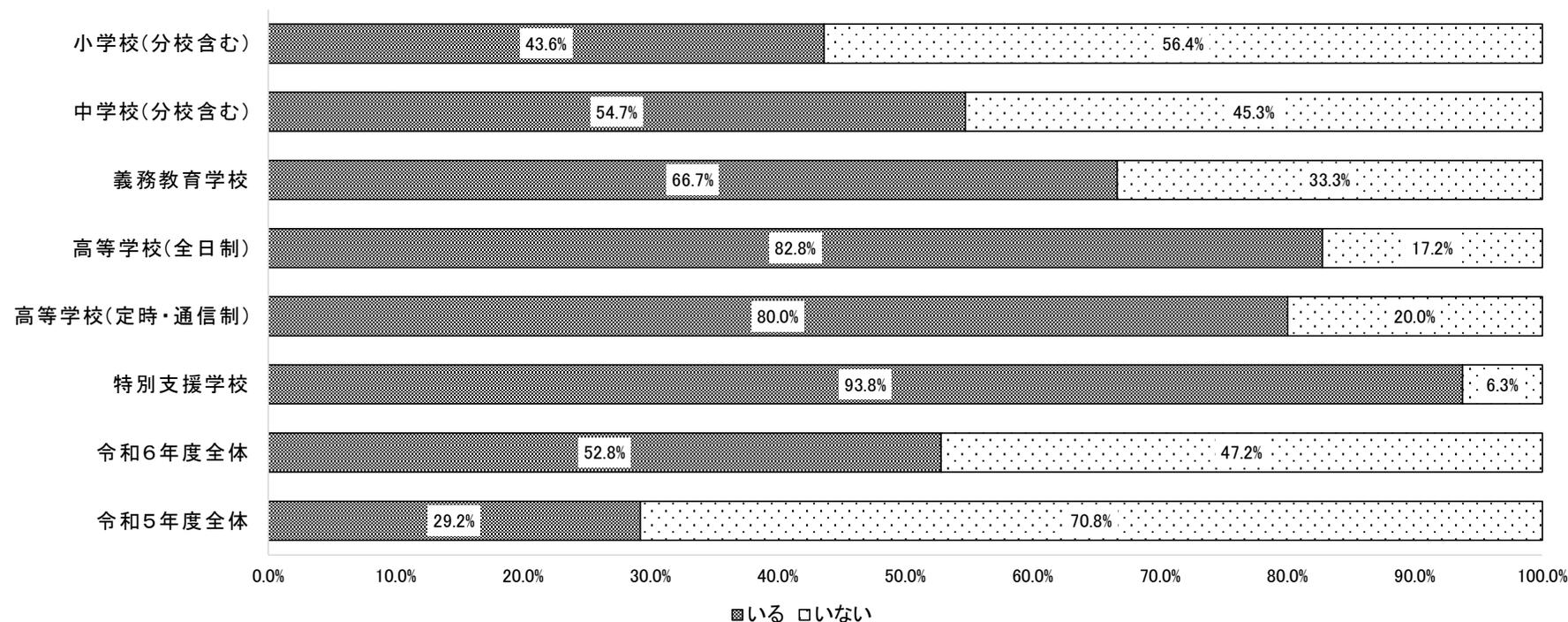
質問: 貴校では、業務改善を推進する委員会を校務分掌に位置付けていますか。(既存の委員会等に位置付けることも可能)

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない	
小学校(分校含む)	23.1	43.6	76.9	56.4					23.1	43.6	76.9	56.4	
中学校(分校含む)	24.3	54.7	75.7	45.3	33.3	66.7	66.7	33.3	24.1	54.5	75.9	45.5	
義務教育学校	0.0	66.7	100.0	33.3					0.0	66.7	100.0	33.3	
高等学校	全日制	56.9	82.8	43.1	17.2	56.9	82.8	43.1	17.2				
	定時・通信制	60.0	80.0	40.0	20.0	60.0	80.0	40.0	20.0				
特別支援学校	93.8	93.8	6.3	6.3	93.8	93.8	6.3	6.3					
全体	29.2	52.8	70.8	47.2	63.2	83.9	36.8	16.1	23.1	47.2	76.9	52.8	

令和6(2024)年度は、全体では52.8%の公立学校が、業務改善を進める委員会を校務分掌に位置づけており、特に特別支援学校では93.8%となっている。

位置付けていない理由について、「特に理由はない」及び無回答が57%で最も多く、「教員の負担が増える」や「普段から話し合える雰囲気がある」という回答もあった。

＜令和6年度＞



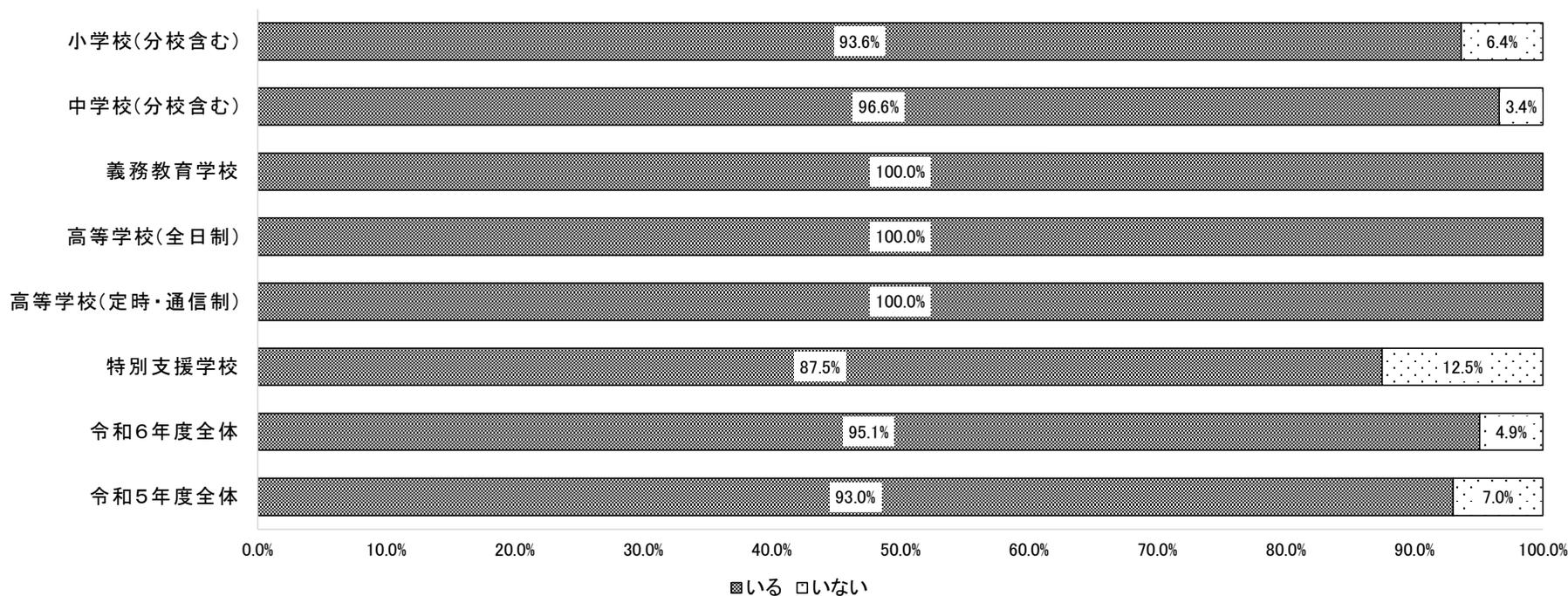
教職員評価制度の活用

質問: 貴校では、教職員評価制度を積極的に活用し、教職員一人一人の業務改善への意識や意欲を高めていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
					いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	92.5	93.6	7.5	6.4					92.5	93.6	7.5	6.4	
中学校(分校含む)	90.5	96.6	9.5	3.4	100.0	100.0	0.0	0.0	90.3	96.6	9.7	3.4	
義務教育学校	100.0	100.0	0.0	0.0					100.0	100.0	0.0	0.0	
高等学校	全日制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
	定時・通信制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
特別支援学校	93.8	87.5	6.3	12.5	93.8	87.5	6.3	12.5					
全体	93.0	95.1	7.0	4.9	98.9	97.7	1.1	2.3	92.0	94.6	8.0	5.4	

令和6(2024)年度は、95.1%の公立学校が、教職員評価制度を積極的に活用している。

<令和6年度>



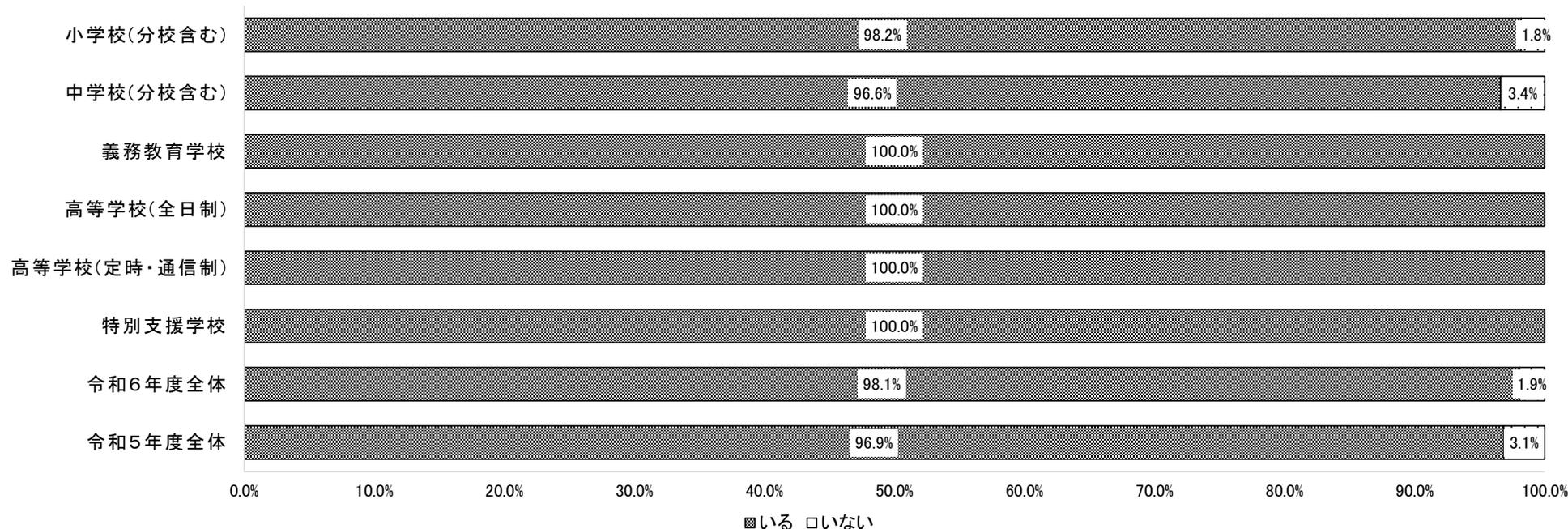
ミドルリーダーの育成

質問：貴校では、ミドルリーダーを計画的に育成し、適所に配置するなどして、学校の教育目標をより効果的に達成できる組織体制の構築に努めていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5		R6		いる		いない		いる		いない		
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	96.1	98.2	3.9	1.8					96.1	98.2	3.9	1.8	
中学校(分校含む)	98.0	96.6	2.0	3.4	100.0	66.7	0.0	33.3	97.9	97.2	2.1	2.8	
義務教育学校	100.0	100.0	0.0	0.0					100.0	100.0	0.0	0.0	
高等学校	全日制	98.3	100.0	1.7	0.0	98.3	100.0	1.7	0.0				
	定時・通信制	90.0	100.0	10.0	0.0	90.0	100.0	10.0	0.0				
特別支援学校	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0					
全体	96.9	98.1	3.1	1.9	97.7	98.9	2.3	1.1	96.7	97.9	3.3	2.1	

令和6(2024)年度は、98.1%の公立学校が、ミドルリーダーを計画的に育成し、適所に配置するなどして、学校の教育目標をより効果的に達成できる組織体制の構築に努めている。

<令和6年度>



休暇を取得しやすい雰囲気醸成

質問：貴校では、教職員一人一人の事情に配慮した声かけを行うなど、休暇を取得しやすい雰囲気醸成に努めていますか。

校種	回答(%)				(内訳)								
	いる		いない		県立学校(%)				市町立学校(%)				
	R5	R6	R5	R6	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
小学校(分校含む)	99.7	100.0	0.3	0.0					99.7	100.0	0.3	0.0	
中学校(分校含む)	98.6	100.0	1.4	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	98.6	100.0	1.4	0.0	
義務教育学校	100.0	100.0	0.0	0.0					100.0	100.0	0.0	0.0	
高等学校	全日制	98.3	98.3	1.7	1.7	98.3	98.3	1.7	1.7				
	定時・通信制	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0				
特別支援学校	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0					
全体	99.3	99.8	0.7	0.2	98.9	98.9	1.1	1.1	99.4	100.0	0.6	0.0	

令和6(2024)年度は、公立学校のほとんどで休暇を取得しやすい雰囲気醸成に努めている。

<令和6年度>

